

情報処理科 2年A組

教 科	商 業	科目(単位)	プログラミング(2単位)
使用教科書	最新プログラミング オブジェクト指向型言語 (実教出版)		
授 業 形 態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

プログラミングに関する知識と技術を習得させ、プログラムの役割や重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを合理的に活用する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・プログラミングの基礎的な技法から応用的な技法の知識を学び、一連の手順に沿ってプログラムを作成できるように、専門的な分野にわたって説明します。
- ・課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含め、必要な情報を主体的に収集、判断、表現、処理、創造し、受け手の状況などを踏まえて発信、伝達できる能力を、実例を多く取り入れた学習や課題を通して学習します。

3 学習の方法

- ・プログラミングの実習を通して、発展的な文法や流れをしっかりと学び、応用的なアルゴリズムを構築し、さまざまな実習問題を通してソフトウェア開発の応用的な技術を身に付けます。

4 課題・補習について

- ・授業の進度に応じて適宜課題を出します。
- ・定期考査で点数が低い場合や、実習の進度が遅れている場合には、個別補習を行います。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

特にありません

情報処理科 2年A組

教 科	商 業	科目(単位)	プログラミング (2単位)
-----	-----	--------	---------------

6 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1章 コンピュータとプログラミング 1節 ビジネスと情報処理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおけるコンピュータシステムの活用例を理解する。 ・情報処理システムの構成について理解する。 	行動観察 提出物 小テスト 前期中間考査
5	第2章 プログラミング基礎 1節 プログラミングの手順	<ul style="list-style-type: none"> ・Java言語におけるプログラミングの手順を理解する。 ・プログラムの作成と実行の方法について理解する。 	
6	2節 データの入出力と演算	<ul style="list-style-type: none"> ・データの入出力に関する記述と活用方法について理解する。 ・変数の定義と利用方法について理解する。 	
7	3節 アルゴリズムの表現技法	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図の意味とその表現方法について理解する。 ・基本制御構造について理解する。 	
8	4節 条件判定とくりかえし処理	<ul style="list-style-type: none"> ・条件判定の記述と活用方法について理解する。 ・一定回数のくりかえし処理の記述と活用方法について理解する。 	
9	5節 オブジェクト指向の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの考え方について理解する。 ・オブジェクト指向の三大要素について理解する。 	
10	第3章 プログラミング応用 1節 メソッドの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスとメソッドの使い方について理解する。 ・Mainメソッドの記述方法について理解する。 	前期期末考査
11	2節 配列の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・配列の考え方について理解する。 ・配列を利用した集計方法について理解する。 	
12	3節 例外処理とストリーム	<ul style="list-style-type: none"> ・配列の探索方法について理解する。 ・例外処理の記述と活用方法について理解する。 ・ファイルの入出力の記述と活用方法について理解する。 	行動観察 提出物 小テスト 作品課題 後期中間考査
1	第4章 Javaの活用 1節 ユーザインタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポーネントとコンテナの活用方法について理解する。 ・イベント処理の記述と活用方法について理解する。 	
2	2節 文字や画像などの処理	<ul style="list-style-type: none"> ・文字列処理の記述と活用方法について理解する。 ・画像および図形処理の記述と活用方法について理解する。 ・音声処理の記述と活用方法について理解する。 ・単元テスト、模擬問題、過去問題に取り組み、間違えた問題を徹底的に見直す。 	
3	まとめ学習	作品制作	